

報道関係各位

2019年5月28日

世界大会準優勝に輝いた『工学院大学ソーラーチーム』の車両を一般公開

～小さな部品から車両の設計まで、全てを学生主体で製作したソーラーカー～

工学院大学(学長:佐藤光史、所在地:東京都新宿区/八王子市)の学生プロジェクト「工学院大学ソーラーチーム」が製作した車両が、6月4日(火)に東京スクエアガーデン(東京都中央区)にて開催される「ソーラーカー展示&乗車撮影会」(主催/株式会社ブリヂストン)に登場します。当日は、チームの学生が車両の説明やチーム紹介などを行います。

この出展車両は、大学の研究資源(教員)と“ものづくり”の施設を最大限に活用して、学生が“設計”から“製作”までの全てを担って作り上げ、2015年にオーストラリアで開催された世界最大級のソーラーカーレース「2015ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」のクルーザークラスで準優勝に輝きました。

【本件のポイント】

- ・『工学院大学ソーラーチーム』が製作した車両が、6月4日(火)に東京スクエアガーデン(東京都中央区)にて開催される「ソーラーカー展示&乗車撮影会」(主催/株式会社ブリヂストン)に登場。当日は、チームの学生が車両の説明やチーム紹介を行う。6月5日「環境の日」に合わせ、ソーラーカーの技術力や環境への取り組みを広めることを目的としている。
- ・この車両は、学生が“設計”から“製作”までの全てを行い、2015年にオーストラリアで開催された「2015ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」では準優勝、2016年に秋田県大潟村で開催された国内大会では優勝に輝いた。
- ・『工学院大学ソーラーチーム』は、2019年10月に「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」に参戦。4度目の挑戦で初優勝を勝ち取るため、“Designed by 工学院大学” “Made in 工学院大学”のオンリーワン新車両を製作中。

【本件の概要】

6月4日(火)に東京スクエアガーデン(東京都中央区)で開催される「ソーラーカー展示&乗車撮影会」(主催/株式会社ブリヂストン)で、大学の研究資源(教員)と“ものづくり”の施設を最大限に活用し学生たちが自らの手で作り上げたソーラーカーを一般公開し、学生が車両の説明やチーム紹介などを行います。このイベントは、6月5日「環境の日」に合わせ、ソーラーカーの技術力や環境への取り組みを広めることを目的としています。

今回展示される車両は、多くのサポート企業の中で、世界最大のゴム・タイヤメーカーであるブリヂストンより次世代低燃費タイヤ「ECOPIA with ologic」などの提供を受けました。2015年10月オーストラリアで開催された世界最大級のソーラーカーレース「2015ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」で準優勝、2016年8月秋田県大潟村で開催された国内大会では、大会新記録を樹立し、総合優勝の実績を残しています。

チーム設立10周年を迎えた『工学院大学ソーラーチーム』は、2019年10月に「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」に参戦し、4度目の挑戦で初優勝を狙います。“Designed by 工学院大学” “Made in 工学院大学”のオンリーワン新車両を製作しており、6月末にはお披露目予定です。

「ソーラーカー展示&乗車撮影会」概要

- 日時 6月4日(火) 9:30～18:00
- 会場 東京スクエアガーデン1階(東京都中央区京橋三丁目1番1号)
※事前申込不要、参加費無料
- イベント内容(予定)
『工学院大学ソーラーチーム車両展示、「2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ紹介展示」、装着タイヤ「ECOPIA with ologic」紹介

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課/担当:樋口・堀口・松本

TEL: 03-3340-1498/e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp

■工学院大学ソーラーチームとは <ソーラーチーム特設サイト> <https://www.kogakuin.ac.jp/solar/>

“50年後の未来を考えた地球の持続的利用”をプロジェクトの理念に掲げ、学部や学科の枠を超えたメンバー300名以上が活動中。車両の開発・設計から製作、レースでの走行、チームマネジメントなど全てを学生主体で行っている。メンバーの成長のみならず、国連による「持続可能な開発目標(SDGs)」達成への貢献を目指す大学全体が取り組む活動の一つである。

チーム設立10周年に悲願の世界大会初優勝へ

工学院大学の学生プロジェクトは、学生グループの理工学に関する自主的な創造活動を活性化して、学生の創造性を育むと共に、社会でリーダーとして活躍できる人間的な成長を目指して活動。そのプロジェクトの1つである『工学院大学ソーラーチーム』は2009年にメンバー8名でスタートし、国内大会での連続優勝に留まらず世界大会への参戦を経験することで大きく飛躍、2019年には設立10周年を迎え300名を超えるプロジェクトチームに成長している。

学生のチャレンジが大学の理念と共に大きく成長

大学全体で挑戦する世界大会への参戦は、工学院大学が掲げる「無限の可能性が開花する学園」という理念の大きな実践の場となる。『工学院大学ソーラーチーム』は、車両をメインに扱う技術部、サポート企業との調整や広報を担う運営部、会計全般を管理する財務部に分かれ、車両開発・設計から製作、レースでの走行、チームマネジメントまで全ての役割を学生自らが行っている。学生は自主的・能動的なチームの活動を通して、社会でリーダーとして活躍する力を養い、ソーラーチームでの活動を経験した卒業生の多くが、日本有数の自動車メーカーや関連企業において最先端の現場で活躍、日本の技術力を支えている。

“理工系大学”の特徴を生かし、豊富な研究資源・充実したものづくり施設を最大限に利用

制御工学を専門とする濱根洋人監督(工学部 機械システム工学科 教授)を筆頭に、日々、先端研究に励む機械・化学・電気・情報・建築分野から多数の教員陣が、学部・学科の枠を超えて横断的な技術支援を展開。また、2017年には「ソーラービークル研究センター」を立ち上げ、最先端研究によって技術面をバックアップするとともに、キャンパス内の様々なものづくりの施設・設備を利用して車両製作に取り組んでいる。

工学院大学ソーラーチームの主な戦歴

2010年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	—	1号機は当時世界初となる4輪で初出場、約600km走破。
2011年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	準優勝	前回大会の経験を生かし約900km走破しチーム初の入賞。
2012年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	ソーラーカー部門とチャレンジクラスで優勝の2冠制覇。
2013年	10月	ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(オーストラリア) チャレンジャークラス	—	2号機 Practice を製作し参戦。完走できず途中数力所でトレーラー搬送。
2014年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	台風の影響でレース時間が大幅に減少するも、断トツの成績で優勝。
2015年	10月	ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(オーストラリア) クルーザークラス	準優勝	3号機 OWL を製作し参戦。レース走行はトップでゴールしたが総合順位で準優勝。
2016年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	大会新記録樹立、チーム史上初・女性ドライバー誕生。
2017年	10月	ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(オーストラリア) チャレンジャークラス	第7位	4号機 Wing を製作し参戦。レース直前のアクシデント(車両破損)もチーム力で乗り越えて完走。
2018年	8月	ワールド・グリーン・チャレンジ(国内)	優勝	レース中の悪天候や車両横転のトラブルに直面するも接戦を制し総合優勝。

2019 ブリヂストンワールドソーラーチャレンジへの主な参戦スケジュール

6月27日	新車お披露目記者発表会
7月中旬	テストコース走行・模擬レース訓練
8月	ソーラーカーや物資を船便輸送
9月下旬	メンバーがオーストラリアへ出発
10月7～12日	静的車検及び動的車検
10月13～18日	本戦レース期間
10月20日	表彰式
10月22日	メンバー日本帰国



2017年大会の様子



学生自身が車両を製作

■ブリヂストンワールドソーラーチャレンジとは

<ブリヂストン特設サイト> <https://www.bridgestone.co.jp/bwsc/>

太陽光を動力源として、約5日間を掛けオーストラリア北部のダーウィンから南部のアデレードまでの約3,000kmの総走行技術を競う世界最高峰のソーラーカーレース。3つのクラスでそれぞれの基準に従ってレースを行う。夜間は各チームが広大な砂漠の中でそれぞれキャンプを張って過ごすなど、心身ともにハードなサバイバルレースで、2017年に行われた前回大会では19の国と地域から大学生を中心とする38チームが出場。『工学院大学ソーラーチーム』はチャレンジャークラスに出場予定。



レースは広大な砂漠地帯を走行

<2019ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ概要>

- 開催期間: 2019年10月13日(日)～20日(日)
- 開催場所: オーストラリア(スタート: ダーウィン、ゴール: アデレード)
- 主催者: 南オーストラリア州政府観光局
- 大会タイトルスポンサー: 株式会社ブリヂストン
- 大会クラス区分:
 - ・チャレンジャークラス/タイヤ4輪、ドライバー1名、速度を重視したデザインの車両で目的地までの順位を競う。
 - ・クルーザークラス/タイヤ4輪、ドライバー1名+乗員1名以上が乗車、エネルギー効率や実用性を競う。
 - ・アドベンチャークラス/過去の大会の規則に準じた車両など、上記2クラスの条件を満たさない車両も参加。